

説教

入学した「とき」に考えて欲しいこと

藤原 淳賀

大学宗教主任、地球社会共生学部教授

天の下では、すべてに時機があり すべての出来事に時がある。（コヘレトの言葉 3章 1節）

ご入学おめでとうございます。

この新しい始まりの時、皆様にお勧めしたいことがあります。

第一に、終わりを考えてみてください。そうです。始まったばかりのときに、終わりをイメージしていただきたいのです。

受験のための準備をしてこられたことでしょう。合格というゴールを見据え、そのために必要なことを考え、準備を一生懸命してこられました。今やそれを達成されました。そして青山学院での生活が始まっています。

人生は続いていきます。皆さんが2022年度を終える時、どのような成長を遂げていたideしょうか。学業において、人間関係において、人格において。また皆さんが卒業される日が来ます。青山学院を去る日が来ます。その時どのようなご自分になっていたideしょうか。そのことをイメージしながら今を生きていただきたいのです。

青山学院での日々は、人生の中でも最も輝いている美しい日々となることideしょう。大切な学びをこのキャンパスですていただきたいと思います。一生の友をこのキャンパスで見出していただきたいと思います。人生の方向性が培われるような経験をこのキャンパスですていただきたいと思います。後から振り返ったときに、青山学院におけるこの大切なときがどのように見えるかをイメージして、本当に大切なことのために時間とエネルギーと心を用いていただきたいのです。

青山学院はキリスト教の学校です。救い主イエス・キリストが誕生されたクリスマスや、復活されたイースターを大切にします。クリスマスはイエス様の地上での生涯の始まりです。そしてそ

の終わりは十字架でした。十字架にかけられたイエス様は、息を引き取られるとき「成し遂げられた」と言われました（ヨハネ19:30）。イエス様は、救い主として終わりに達成すべきことを見据えながら生涯を送られていたのです。そしてその後復活が起こったのです。

卒業してから、「もっと友達と時間を過ごしておけばよかった」、「もっと勉強しておけばよかった」、「もっと親切にしておけばよかった」と悔いることのないように、終わりをイメージしながら、今なすべきことを考え、歩んでいただきたいのです。

第二に、あなたの過去を神様にお委ねしてください。すでに終わったことはもう変えることができません。失敗もあったでしょう。よくできたこともあったでしょう。失敗したことは反省しなければなりません。どこがよくなかったのか。なぜ失敗してしまったのか。準備不足だったのかかもしれません。軽率だったのかかもしれません。自己中心だったのかかもしれません。ずるい気持ちや、傲慢さがあつたのかかもしれません。愛がなかったこともあるでしょう。

冷静に分析し、素直に自分の心を探り、謝るべき人には、少なくとも心のなかで、「ごめんなさい」と正直に申し上げることです。隠すことなく正直に、自分の気持ちを神さまにお伝えし、心から悔い改めの祈りを捧げます。そして恵み深い神様の御手に過去をお委ねするのです。

よくできたこともあるでしょう。しかしそれは多くの方々の支えがあつてできたことです。傲慢になつてはいけません。誇ることなく謙虚に、感謝と共に、よくできたことも神さまにお捧げするのです。

第三に、今日という日に集中してください。過去

を後悔し、将来の不安の中で、こころが一杯になってしまうことがあります。それはとてもつらいことです。そしてそれは神様が願っておられることではありません。

私たちが生きているのは、今日という日です。過去は過ぎ去りました。失敗も成功も。将来のことはまだ起こっていません。不安があつても、まだ起こっていません。あなたが生きるのは、「今日」、そして「いま」という瞬間です。そこに集中するのです。

わたしが書斎の机に置いている祈りがあります。

わたしの過去、
それがわたしを悩ますことは、もはやない
それはすでに神の慈しみのうちにある
わたしの将来、
それがわたしを悩ますことは、いまだない
それはまだ神の摂理のうちにある
わたしが心がけねばならないのは、
いま、ここ、今日という日
しかし、それも神の恵みのうちにあり
わたしが自分の良き意思をお捧げすることにかかっている
（聖フランシスコ・サレジオの祈り）

終わりをイメージすること。過去を神さまにお委ねすること。そして神の愛のうちに神を愛し、隣人を愛して、青山学院での今日の日を、そして今、自分の意志を神様にお捧げして歩んでいただきたいと思います。

あなたの今日の歩みの上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

